

# 紛争鉱物に関する基本方針

東大無線株式会社は、紛争地域(コンゴ共和国及びその周辺諸国)から産出され、反社会的武装集団の資金源となりうる紛争鉱物(スズ、タンゲステン、タンタル、金)を排除することを基本方針とします。

この方針に基づき、以下の取り組みを推進します。

1. サプライヤーに対して、コンゴ共和国(DRC)及びその周辺諸国から産出される、紛争鉱物の不使用を要求します。また、製錬業者を明確にするためにCMRTを用いた調査を実施し、それを検証します。
2. サプライチェーン全体で鉱物資源の責任ある調達に取り組むため、RMI/RMAPのCFSプログラムで認証された製錬業者からの調達を推進します。
3. 今後、紛争鉱物の排除のためのさらに効果的な方法が確立された場合は、積極的に採用しサプライチェーン全体でそれに従った調達を推進します。
4. 東大無線株式会社の製品において紛争鉱物の使用が判明した場合には、それらを排除するためにできる限り迅速に適切な処置をとります。

(注) CMRT : Conflict Minerals Reporting Template  
RMI : Responsible Minerals Initiative  
RMAP : Responsible Minerals Assurance Process  
CFS : Conflict Free Smelter

2019年 8月 1日  
東大無線株式会社  
代表取締役社長 志村 福夫